

開催日	テーマ	技術分野	講師、演題
2017年4月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会「食と味覚とエピジェネティクス～父から子へ？！脳への影響と生活習慣病」	基盤技術	「食育と味覚を考える～味覚刺激が引き起こす大脳皮質の変化」三坂 巧氏(東京大学大学院農学生命科学研究科准教授) 「食品を介した父マウスから子へのエピジェネティックな影響～ポリフェノールを一例として」近藤 隆氏(理化学研究所 統合生命医科学研究センター) 「胎児期、乳幼児期のタンパク質栄養環境は、生活習慣病の発症に密接に関与する」加藤久典氏(東京大学総括プロジェクト機構 総括寄付講座「食と生命」特任教授)
2017年5月15日	“未来へのバイオ技術”勉強会「生物学実験における限界の破壊と新素材革命の加速」	IoT・AI	「生物学における様々な計測限界の突破－分子バーコード、ロボティクス、AI－」 谷内江 望 氏(東京大学 先端科学技術研究センター) 「人工タンパク質素材進化の加速」 菅原 潤一 氏(Spiber(株) 取締役兼執行役)
2017年5月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱11～強く、やさしく、美しく」	環境	「伝統工芸の漆器が持つ美しい漆黒(漆ブラック)を実現したバイオプラスチック」 位地 正年 氏(日本電気(株) IoTデバイス研究所 主席研究員) 「世界最高強度の透明樹脂」 金子 達雄 氏(北陸先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 環境・エネルギー領域 教授) 「高分子多糖類の特徴を活かした新しいバイオプラスチック」 岩田 忠久 氏(東京大学大学院 農学生命科学研究科 生物材料科学専攻 教授)
2017年6月 2日	“未来へのバイオ技術”勉強会「デジタルとIoTが広げる新たな食の可能性」	IoT・AI	「食品工場の更なる安心・安全に向けたIoTソリューション」 黒沢 潤 氏(横河ソリューションサービス(株) インダストリアルソリューションセンター2部 Gr長) 「食品用3Dゲルプリンタを用いた個別化メニューの提供 ～高齢者や嚥下障害の方に食べる楽しみのある未来を」 古川 英光 氏(山形大学大学院理工学研究科 教授) 「生鮮食品のフードバリューチェーンを強化するIoTソリューション」 橋本 司 氏((株)スカイディスク 最高経営責任者CEO)
2017年6月12日	“未来へのバイオ技術”勉強会「AIが切り拓く医療、健康産業の将来展望」	IoT・AI	「大規模ゲノム解析の現状と、その活用に向けた統計・機械学習」 瀬々 潤 氏((国研)産業技術総合研究所 人工知能研究センター 機械学習研究チーム 研究チーム長) 「深層学習を活用した医療データ分析」 巢籠 悠輔 氏((株)情報医療(MICIN)CTO)
2017年6月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「デジタル&先端メディアと人工知能が拓く新しい食の世界」	IoT・AI	「食の世界に先端メディアサイエンスは何をもたらすか」 宮下 芳明 氏(明治大学 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科 教授・学科長) 「クロスモーダルデザインで広がる食と香りとバーチャル世界」 鳴海 拓志 氏(東京大学大学院 情報理工学系研究科 知能機械情報学専攻 講師) 「食分野に活用 人工知能「SENSY」の可能性」 渡辺 祐樹 氏(カラフル・ボード(株) 代表取締役CEO/人工知能科学者)
2017年7月21日	“未来へのバイオ技術”勉強会「AIが生み出すこれからの産業・市場・社会」(仮題)	IoT・AI	「AIが生み出すこれからの産業・市場・社会」(仮題) 奥野 恭史 氏(京都大学大学院 医学研究科 教授)
2017年7月24日	“未来へのバイオ技術”勉強会「健康食品であなたの健康が買えますか？」	食品・機能性食品	「健康食品の臨床試験の問題点」 大橋 靖雄 氏(東京大学名誉教授 中央大学理工学部人間総合理工学科 教授) 「食の安全について」 畝山 智香子 氏(国立医薬品食品衛生研究所 安全情報部 部長)

2017年9月5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「微生物探索の最新技術動向～先導探索技術開発とバイオ界面活性剤スクリーニング」	微生物・発酵	「微生物探索の重要性とプロジェクト検討」 本山 裕章((一財)バイオインダストリー協会 広報部、先端技術・開発部 部長) 「微生物探索における先導技術開発～微小反応場を利用したMassive Cultivation Platform (MCP)の開発」 野田 尚宏氏((国研)産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門 バイオアナリティカル研究グループ 研究グループ長) 「微生物のスクリーニングと産業利用への展開～バイオ界面活性剤の開発」 森田 友岳氏((国研)産業技術総合研究所 機能化学研究部門 バイオケミカルグループ グループ長)
2017年9月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「宇宙とバイオ」	基盤技術	「宇宙で1年生き延びた放射線耐性細菌Deinococcus radiodurans ～たんぼぼ計画の最新成果から」 山岸 明彦氏(東京薬科大学 生命科学部 教授) 「宇宙と地上における人の健康とプロバイオティクスの継続摂取」 長南 治氏((株)ヤクルト本社 中央研究所 研究管理センター 所長) 「きぼう」日本実験棟を利用した高品質タンパク質結晶生成実験の新しい展開 木平 清人氏((国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA) 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター) 「宇宙医学・栄養学～無重力による筋萎縮のメカニズムと次世代サルコペニア予防食の創製」 二川 健氏(徳島大学 医学部・医科栄養学科 教授)
2017年10月23日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ICT活用は水産業の救世主となるか？」	IoT・AI	「ICT活用による現場からイノベーション創出！」 山本 圭一氏((株)NTTドコモ 法人ビジネス本部 第一法人営業部 第六営業・第一担当課長) 「宇宙データの活用で狙うICT×水産養殖」 藤原 謙氏(ウミトロン(株) 代表取締役)
2017年11月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「商品偽装を斬る！！」	基盤技術	「日本発の国際標準規格で、カシミア製品の偽装を防止する」 大箸 信一氏(金沢工業大学 ゲノム生物工学研究所 所長) 「行政支援のための産地判別技術～現状と課題～」 寺田 昌市氏((独)農林水産消費安全技術センター 表示監視部 技術研究課 専門調査官) 「食品偽装や不純物調査に革新をもたらすiKnifeサンプリング機能搭載 REIMS研究システムの威力」 寺崎 真樹氏(日本ウォーターズ(株) マーケットディベロップメント)
2017年11月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会「長鎖非コードRNA研究の進歩と可能性」	基盤技術	「長鎖非コードRNA研究はunmet needsを満たせるのか？」 黒川 理樹氏(埼玉医科大学ゲノム医学研究センター 遺伝子構造機能部門 教授) 「ノンコーディングRNAとの相互作用を介したTLS/FUSタンパク質の機能発現機構に関する構造学的研究」 片平 正人氏(京都大学エネルギー理工学研究所 教授) 「生体分子のダイナミクスと機能:分子動力学シミュレーションの非コードRNA研究ツールとしての可能性」 山下 雄史氏(東京大学先端科学技術研究センター 特任准教授)
2017年12月15日	“未来へのバイオ技術”勉強会 微細藻類でもう一度、地球の大気を変える？！	環境	「紅い緑藻 Dunaliella から始まる砂漠のバイオコンビナート・バイオマスシヨア構想 ～SDGsへの貢献と経済活動の両立～」 倉橋 みどり氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 特任准教授) 「砂漠で微細藻類を“ほったらかし培養”なら経済性は成り立つ!？」 谷内 弘明氏((株)ベンチャーサポート・システムズ 代表取締役) 「エネルギー密度の低い微細藻類、海洋深層水を産業に使う」 高橋 正征氏(東京大学・高知大学 名誉教授)

2017年12月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「超絶生物イノベーション」	基盤技術	「現象数理学で読み解く生物行動学～楽しい粘菌生活」 中垣 俊之 氏(北海道大学電子科学研究所 電子科学研究所 所長) 「動物の極限環境耐性から生命の本質を探る～クマムシの探求」 國枝 武和 氏(東京大学大学院理学系研究科 生物科学専攻)
2018年1月22日	“未来へのバイオ技術”勉強会「ココロの動きと神経系に着目した新商品開発」	基盤技術	「難吸収性ポリフェノールの神経系に対する作用の解明と機能性食品開発」 越阪部 奈緒美 氏(芝浦工業大学 システム理工学部 教授) 「ココロの動きを捉えて感性を価値に変える～主観的気分測定ツール「KOKOROスケール」を用いた心理評価とその応用」 片岡 洋祐 氏((株)Kokorotics 代表取締役社長、(国研)理化学研究所ライフサイエンス技術基盤研究センター チームリーダー) 「気分改善効果をもたらす酒粕成分の探索と応用展開」を用いた心理評価とその応用」 藤井 力 氏(酒類総合研究所 品質・評価研究部門 部門長)
2018年1月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱12 ～エコロジー&エコノミーとしなやかさ」	環境	「地球に優しいバイオグラウト～土壌微生物により固化する新技術」 川崎 了 氏(北海道大学大学院工学研究院 環境循環システム部門 地圏循環工学分野 資源生物工学研究室 教授) 「石灰石から新素材「LIMEX」で世界を変える」 黒木 重樹 氏((株)TBM 開発本部) 増田 稜 氏((株)TBM コーポレート・コミュニケーション本部) 「環動ポリマー構造の導入による竹のようにしなやかでタフなポリマー材料」 小林 定之 氏(東レ(株) 化成品研究所 研究主幹)
2018年2月 5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「スマート創薬、医用画像診断におけるサイバーフィジカルシステムの最前線」	IoT・AI	「ディープ・ラーニングによるAI支援画像診断最前線」 鈴木 賢治 氏(東京工業大学 科学技術創成研究院 World Research Hub Initiative (WRHI) 兼 未来産業技術研究所 兼 工学院 情報通信系 教授(特任)) 「スマート創薬による、AIと生化学実験の相互補完の深化」 関嶋 政和 氏(東京工業大学 科学技術創成研究院 スマート創薬研究ユニット ユニットリーダー/准教授)
2018年2月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「アクティブセンシング ～ストレスフリー&脳活性化」	IoT・AI	「貼るだけ簡単、脳波をチェック～ご家庭内での脳のヘルスケアを目指して～」 関谷 毅 氏(大阪大学 産業科学研究所 教授) 「音楽による脳の活性化～人工知能の歌心」 沼尾 正行 氏(大阪大学 産業科学研究所 大阪大学情報科学研究科 情報数理学専攻 教授)
2018年4月19日	“未来へのバイオ技術”勉強会「先進遺伝子治療はどこまで行こうとしているか～エピゲノム疾患治療と脳神経再生医学」	医薬	「ゲノム編集により遺伝子のスイッチを操作する～エピゲノム疾患治療の展望」 畑田 出穂 氏(群馬大学 生体調節研究所 附属生体情報ゲノムリソースセンター・ゲノム科学リソース分野 教授) 「アデノ随伴ウイルスベクターを用いた中枢神経系への遺伝子導入と遺伝子治療 ～脳神経再生医学の展望」 平井 宏和 氏(群馬大学医学系研究科・脳神経再生医学分野 教授/未来先端研究機構・神経シグナル学研究プログラム プログラムディレクター/生体調節研究所附属ゲノムリソースセンター センター長)

2018年4月27日	“未来へのバイオ技術”勉強会「感動、デザイン、センシング。」	基盤技術	「“感動”をデザインするものづくりーものづくり心理学の可能性ー」 神宮 英夫 氏(金沢工業大学 副学長(研究支援担当)／情報フロンティア学部 心理情報学科 教授／感動デザイン工学研究所 所長) 「デザイン思考からデザイン心理学思考へ ～感性を科学し、未来を予測 デザイン心理学のアプローチ」 日比野 好恵 氏((株)BBStoneデザイン心理学研究所 代表取締役社長) 「触れるデザイン～触動作センサの応用展開」 川副 智行 氏((株)資生堂 インキュベーションセンター コスメトロニクス開発グループ)
2018年5月16日	“未来へのバイオ技術”勉強会「育てる！バイオと水産業2～ウナギとマダイの明日」	食品・機能的食品	「ウナギの完全養殖は今どうなっているのか」 野村 和晴 氏((国研)水産研究・教育気候 増養殖研究所 ウナギ種苗量産研究センター 量産基盤グループ 主任研究員) 「ゲノム編集で限界まで筋肉量を増やしたマダイの育種」 家戸 敬太郎 氏(近畿大学水産研究所 教授)
2018年5月25日	“未来へのバイオ技術”勉強会「北東インドの生物資源、食品、バイオポリマー研究」～インド工科大学グワハティ校と岐阜大学の産官学共同の展開～	環境	「生物資源の宝庫アッサム州とIIT-G(インド工科大学グワハティ校)の現状と将来展望」 柴田 大輔 氏((公財)かずさDNA研究所) 「Sustainable Polymer の産業利用」 Vimal Katiyar 氏(IIT-G バイオポリマーCOE(Sustainable Polymer) センター長、教授) 「生物農薬と遺伝子組換え植物の産業利用」 Lingaraj Sahoo 氏(IIT-G 生物工学科 植物バイオテクノロジー教授) 「国際協働教育(Joint Degree等)が目指すもの」 北岡 龍也 氏(元 文部科学省高等教育局大学振興課 課長補佐／現 岐阜県教育委員会事務局 教職員課長) 「インド工科大学グワハティ校と進めるJDプラットフォーム;インドの生物資源開発とグリーンエコノミー社会実装人材の育成拠点」 小山 博之 氏(岐阜大学 応用生物科学部 教授(国際連携専攻WG))
2018年6月 5日	“未来へのバイオ技術”勉強会「接ぎ木で産業革命を興す！」	植物	「日本発、接ぎ木をコア技術としたアグリビジネス」 山口 一彦 氏(ベルグアース(株) 代表取締役社長) 「なぜ接ぎ木が可能になるのか～接ぎ木接着にかかわる植物ホルモンの分子メカニズム」 朝比奈 雅志 氏(帝京大学 理工学部 バイオサイエンス学科 准教授) 「接ぎ木による新たな産業への可能性～政策提言の立場から～」 坂元 雄二 氏(日本バイオ産業人会議 事務局)
2018年6月11日	“未来へのバイオ技術”勉強会「筋肉修復に向けた先進医療の可能性」	医薬	「筋肉細胞におけるゲノム編集による遺伝子修復」 堀田 秋津 氏(京都大学 iPS細胞研究所 (CiRA) 未来生命科学開拓部門 主任研究員 / 特定拠点講師) 「ゲノム編集技術「HITI」による生体内組織への遺伝子挿入」 鈴木 啓一郎 氏(大阪大学高等共創研究院 教授) 「機能的食品と運動トレーニングの併用が高齢者の神経筋機能に及ぼす影響」 渡邊 航平 氏(中京大学 国際教養学部 国際教養学科 准教授)
2018年6月29日	“未来へのバイオ技術”勉強会「東京五輪への課題シリーズ:魅力的で安全・安心な食の提供に向けて」	食品・機能的食品	「東京2020大会を契機とした魅力的な和食文化の発信、保護・継承」 西 経子 氏(農林水産省 食料産業局食文化・市場開拓課長) 「最新の食品安全の潮流～衛生管理手法HACCPを踏まえて」 今城 敏 氏(ロイドレジスタージャパン(株) 技術支援部門 食品事業部長 / 立命館大学 客員研究員) 「物流、加工場内の省人・自動化から衛生的リスク対策まで」 江龍 晃 氏((株)前川製作所 食品部門 技術化G) 高橋 朋子 氏((株)前川製作所 技術研究所)

2018年7月23日	“未来へのバイオ技術”勉強会「疲労をイノベートする。」	ヘルスケア	「日常的な疲労状態の簡易な可視化技術とその応用」 岩木 直 氏((国研)産業技術総合研究所 自動車ヒューマンファクター研究センター 副研究センター長、フリッカーヘル「運動によるカラダの疲労感を和らげるBCAAを主成分とした機能性表示食品」 濱田 広一郎 氏(大塚製薬(株) 佐賀栄養製品研究所長) 「衣・纏・繋～食・栄養～住・空間・環境・音楽 産学連携によるエビデンスに基づいた抗疲労ソリューションの研究開発」 堀 洋 氏((国研)理化学研究所 健康生き生き羅針盤リサーチコンプレックス推進プログラム 連携促進コーディネーター「脳・腸・皮膚の相互作用を利用した精神的ストレスを緩和する機能性食品素材の開発」 高山 喜晴 氏((国研)農業・食品産業技術総合研究機構 畜産研究部門
2018年7月31日	“未来へのバイオ技術”勉強会「マイクロバイオーム」	医薬	「大腸がん発病に伴うヒト腸内細菌のマルチオミクス解析」 山田 拓司 氏(東京工業大学 生命理工学院 准教授) 「腸内細菌代謝産物と肥満」 木村 郁夫 氏(東京農工大学大学院 農学研究院 応用生命化学専攻 代謝機能制御学研究室 テニュアトラック特任准教授) 「マイクロバイオーム市場および癌免疫療法について～Impact of the Microbiome Market and Cancer Immunotherapy – Therapeutics, Biomarkers and Future Directions」 沖本 真也 氏((株)グローバルインフォメーション)
2018年8月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「京大発:非侵襲、低侵襲で新薬開発・診断・計測に貢献する3つのツール」	医薬	「京都大学の卓越した知の創造活動:KURAの役割と産学連携」 中平 博之 氏(京都大学 学術研究支援室 シニア リサーチ・アドミニストレーター) 「画期的な生体内ATP濃度の計測技術」 山本 正道 氏(京都大学大学院医学研究科 腎臓内科学 特任准教授) 「水分子の拡散を通じてがんの特徴を捉える～新たな拡散強調MRI腫瘍診断法の開発～」 飯間 麻美 氏(京都大学 白眉センター・大学院医学研究科放射線医学講座(画像診断学・核医学) 特定助教) 「iPS細胞由来心筋細胞を用いた新薬開発スクリーニングツール」 石田 賢太郎 氏((株)マイオリッジ)
2018年10月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「結晶が変える未来社会」	基盤技術	「氷結晶制御技術による美味しさと医療の革新」 河原 秀久 氏(関西大学 化学生命工学部 教授) 「チョコレートを美味しくする結晶物理学と体に良い食用固体脂開発技術の展望」 上野 聡 氏(広島大学大学院 生物圏科学研究科食資源科学講座 教授) 「「きぼう」日本実験棟を利用した高品質タンパク質結晶生成実験の最新成果」 木平 清人 氏((国研)宇宙航空研究開発機構(JAXA) 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター)
2018年10月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「東京五輪への課題シリーズ2:おもてなしを支える日本の食と酒」	食品・機能性食品	「awa酒で乾杯!!～老舗酒造が拓くグローバルビジネス～」 永井 則吉 氏(永井酒造(株) 代表取締役 6代目蔵元) 「日本食・発酵食品の革新的研究～酒粕ペプチドの新規機能性を中心に」 堤 浩子 氏(月桂冠(株) 主任研究員) 「日本の食と、ワインのマリアージュ」 吉田 聡 氏(キリン(株) ワイン技術研究所 主任研究員)

2018年11月 6日	“未来へのバイオ技術”勉強会「宇宙と健康医療研究～抗加齢を中心に」	医薬	<p>「アルツハイマー病発症メカニズムを知る鍵、「アミロイド線維」を宇宙実験でつくる」  加藤 晃一 氏(大学共同利用機関法人 自然科学研究機構 生命創成探究センター長)  「宇宙環境が細胞レベルに及ぼす影響を線虫で解明する！～紫外線、ミトコンドリア障害ならびに放射線応答」 東谷 篤志 氏(東北大学大学院 生命科学研究科 教授)  「世界初、宇宙空間で<math>\mu\text{g}</math> から<math>1\text{g}</math> を可変できる実験環境“MARS”」  白川 正輝 氏(宇宙航空研究開発機構(JAXA) 有人宇宙技術部門 きぼう利用センター技術領域主幹)  「マウスを用いた宇宙環境応答の網羅的評価～実験環境“MARS”を用いたマウス骨格筋への重力影響評価を中心に」  高橋 智 氏(筑波大学医学医療系 生命科学動物資源センター 教授)</p>
2018年11月 7日	“未来へのバイオ技術”勉強会「バイオ素材百花繚乱13～生き物からの学びを柔軟ゲル材料に生かす」	ファインケミカル	<p>「卵白を素材とする高強度ゲル材料」  野島 達也 氏(中国 東南大学 准教授)  「鋼鉄の5倍丈夫な繊維強化ハイドロゲル」  黒川 孝幸 氏(北海道大学GI-CoREソフトマター、北海道大学大学院 先端生命科学研究院 ソフト&amp;ウェットマター研究室 教授)  「光で粘弾性を制御可能な高分子物質: ナマコに学ぶ網目の可逆的切断・再生」  本多 智 氏(東京大学大学院 総合文化研究科広域科学専攻 助教)</p>
2018年11月26日	“未来へのバイオ技術”勉強会「カフェと健康長寿～機能性、コホート研究から商品設計まで～」	食品・機能性食品	<p>「紅茶の機能と商品開発」  鈴木 深保子 氏(キリン(株) R&amp;D本部 飲料技術研究所)  「緑茶と健康長寿に関する疫学研究」  遠又 靖文 氏(東北大学大学院 医学系研究科 公衆衛生学分野 講師)  「コーヒー成分と健康効果」  小沼 直子 氏(日本大学薬学部 健康・スポーツ科学研究室 助教)  「高カカオチョコレート摂取による腸内菌叢の変化と便秘改善作用」  古賀 仁一郎 氏(帝京大学理工学部 バイオサイエンス学科 教授)</p>
2018年12月17日	“未来へのバイオ技術”勉強会「微生物・覚醒」	微生物・発酵	<p>「なぜ多くの微生物は培養困難なのか？休眠・覚醒現象から迫る」  青井 謙輝 氏(広島大学 先端物質科学研究科 分子生命機能科学専攻 准教授)  「複合培養法による休眠遺伝子の効率的な覚醒をめざして」  尾仲 宏康 氏(東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命工学専攻、微生物潜在酵素(天野エンザイム) 寄付講座 特任教授)  「糸状菌の未利用生合成遺伝子を活用するポストゲノム型天然物探索」  浅井 禎吾 氏(東京大学大学院総合文化研究 広域科学専攻 生命環境科学系 准教授)</p>
2019年1月30日	“未来へのバイオ技術”勉強会「核酸医薬開発の動向と課題」	医薬	<p>「核酸医薬への新しいアプローチ」  和田 猛 氏(東京理科大学 薬学部 生命創薬科学科教授)  「核酸医薬品の研究開発」  清水 護 氏(Wave Life Sciences社)  「核酸医薬ベンチャーの成長戦略」  高梨 健 氏((株)新日本科学 代表取締役副社長)  「核酸医薬品製造の現状とNittoの取り組み」  岩本 正史 氏(日東電工(株))</p>

2019年2月13日	“未来へのバイオ技術”勉強会 特別講演会	基盤技術	「Virginijus Siksnys教授特別講演会」 Virginijus Siksnys 教授 (Vilnius University, Lithuania)
2019年2月19日	“未来へのバイオ技術”勉強会「口腔ケア革命」	ヘルスケア	「細胞間コミュニケーションと口腔細菌バイオフィルム」 阿座上 弘行 氏(山口大学 農学部 生物機能科学科 食品化学研究室) 「唾液メタボロミクスによる歯周組織と全身の健康測定法の開発」 久保庭 雅恵 氏(大阪大学大学院歯学研究科予防歯科学分野 准教授) 「人工知能で唾液から口臭の有無を予測する」 中野 善夫 氏(日本大学歯学部歯学科 教授) 「食べるだけで虫歯や歯周病を予防するタブレット菓子とヨーグルト」 二川 浩樹 氏(広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 口腔生物工学分野 教授)
2019年3月1日	“未来へのバイオ技術”勉強会「抗体医薬最前線」	医薬	1.創薬研究面から 「二重特異性抗体を用いた血友病A治療への新たな挑戦」 白岩 宙文 氏(中外製薬(株) バイオ医薬研究部 グループマネジャー) 2.製造コスト削減面から 「Continuous Manufacturing, Transitioning from Batch to Continuous Economics and Operational Implications」 Yuki Abe 氏 (Biopharma Services(英) Senior Consultant Engineer/Director of Sales & Marketing) 3.プロセス連続生産技術面から 「Analysis of economic drivers for integrated & continuous bioprocessing of mAbs, including risk assessment」 梶原 大介 氏(GEヘルスケア・ジャパン(株) エンタープライズソリューション部 部長)
2019年3月20日	“未来へのバイオ技術”勉強会「転機に立つ日本のイネ育種」	植物	「はじめに」 佐々 義子 氏(NPO法人くらしとバイオプラザ21 常務理事、神奈川工科大学 客員教授) 「新・緑の革命:グローバル化時代と地球温暖化に適した超多収・大粒・早晩生コシヒカリの次世代シーケンス解析に基づく開発」 富田 因則 氏(静岡大学グリーン科学技術研究所 教授) 「イネのゲノム編集はこれからどうなるのか～実用化と普及の鍵を考える」 小松 晃 氏((国研)農業・食品産業技術総合研究機構 生物機能利用研究部門 上級研究員) 「食べる免疫療法～『スギ花粉米』は今どうなっているのか」 斎藤 三郎 氏(東京慈恵会医科大学 分子免疫学研究部 教授)